



株式会社 **山善**

個人投資家向けオンラインセミナー

ご説明資料

2024年3月

証券コード：8051

1. 山善ってどんな会社？
2. 重点施策
3. 2024年3月期業績見通しと株主還元

山善ってどんな会社？

皆さまの家にもあるかもしれない「YAMAZEN」



日本のものづくりと暮らしを支える専門商社

生産財



工作機械



切削工具



ロボット

消費財



住宅設備

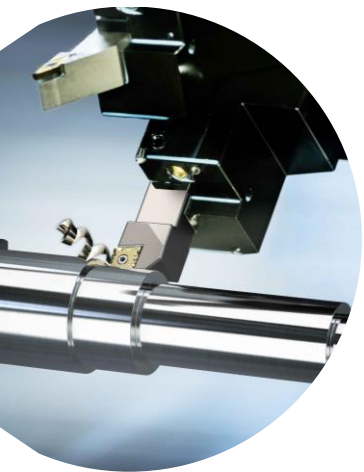


家庭機器

A wide-angle photograph of a modern industrial manufacturing facility. The scene is filled with complex machinery, including conveyor belts, robotic arms, and large metal frames. The floor is marked with yellow safety lines. The overall atmosphere is one of a highly automated and organized production environment.

工場で扱っている 生産設備

山善が取り扱う「生産設備」とは



工作機械・工具・搬送装置など
工場で使うあらゆる設備

つまり、生産財とは

皆さまの身近にある日用品からロケットまで、すべてのものをつくり上げるときに必要な工場の生産設備のこと。



山善は、生産設備全般を取り扱い、**ものづくり業界全体を下支え。**

創業者 山本猛夫



やまもと たけお
山本 猛夫
(1921-1991)



1947年「山善工具製販株式会社」を創立。

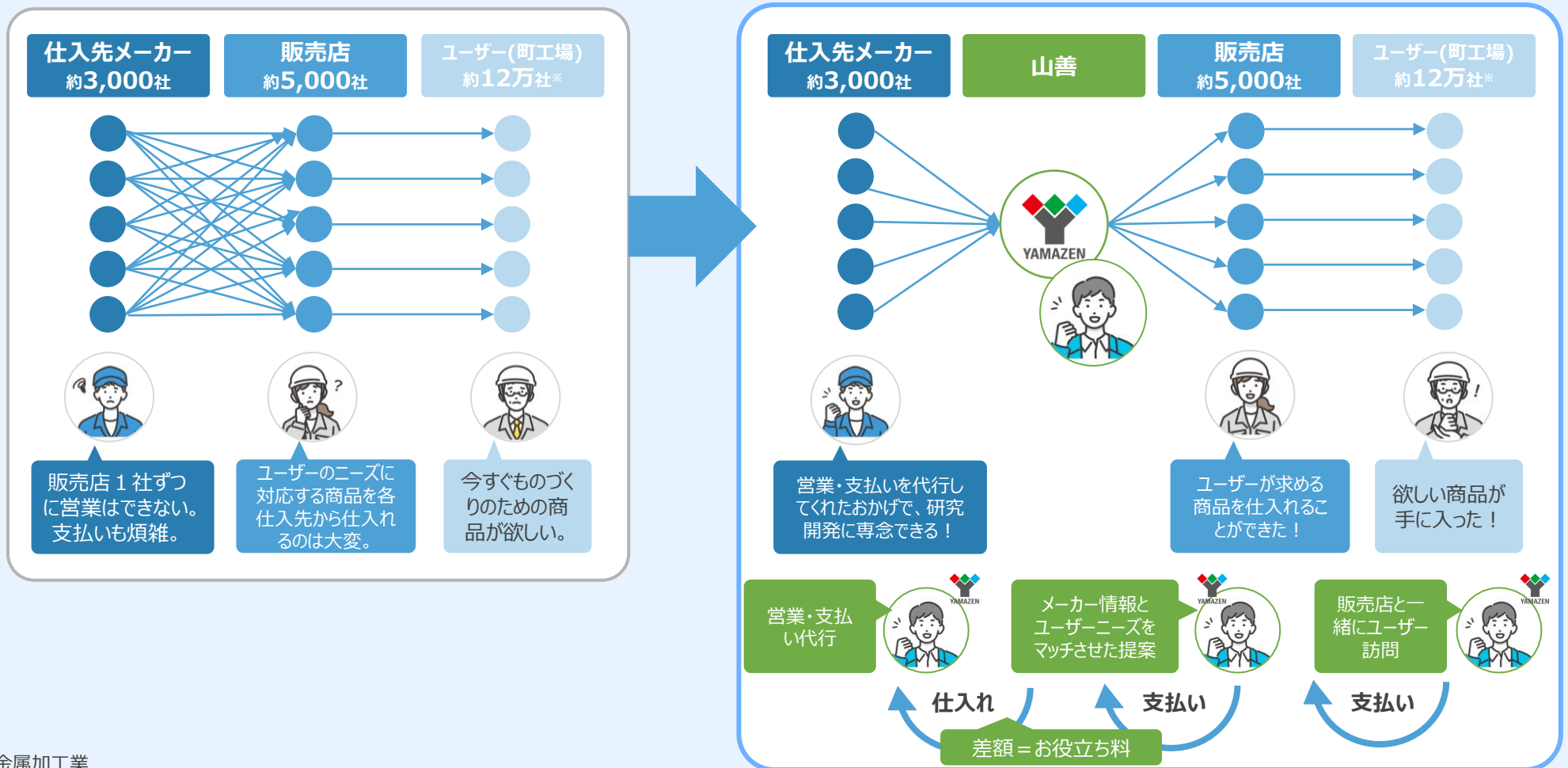
関西テレビで放送されたテレビドラマ「どてらい男」のモデルに。



お客様のお困りごとを
解決してこそのお役立ち料

山善の強み① 確立された卸売ビジネスモデル（国内生産財）

安定したキャッシュ・フローを創出する基幹ビジネス。歴史があり取引先との関係性が強く、業界を知り尽くしている当社は、**国内生産財においてトップクラスのシェア**。



※金属加工業

山善の強み② エンジニアリング力とグローバルネットワーク

自社海外スタッフによる、高度なエンジニアリング体制をグローバルに展開している数少ない企業。

現在は国内でも強化中。

エンジニアリングのフロー（アメリカでの一例）

最適な生産ラインが完成！



ユーザー
(町工場)

●●という商品を作りたいが、どういった生産ラインが必要なのかわからない。

要件定義



ラインの設計



商品調達



据え付け・検品



稼働



メンテナンス



ユーザー
(町工場)

稼働後も山善がフォローし、何かあればすぐに対応



ユーザーの要望を丁寧に聞き取り、最適な生産ラインを設計

数多くの取引先メーカーから迅速に商品を調達



エラーが起こればすぐに対応



海外
14カ国・地域

64事業所



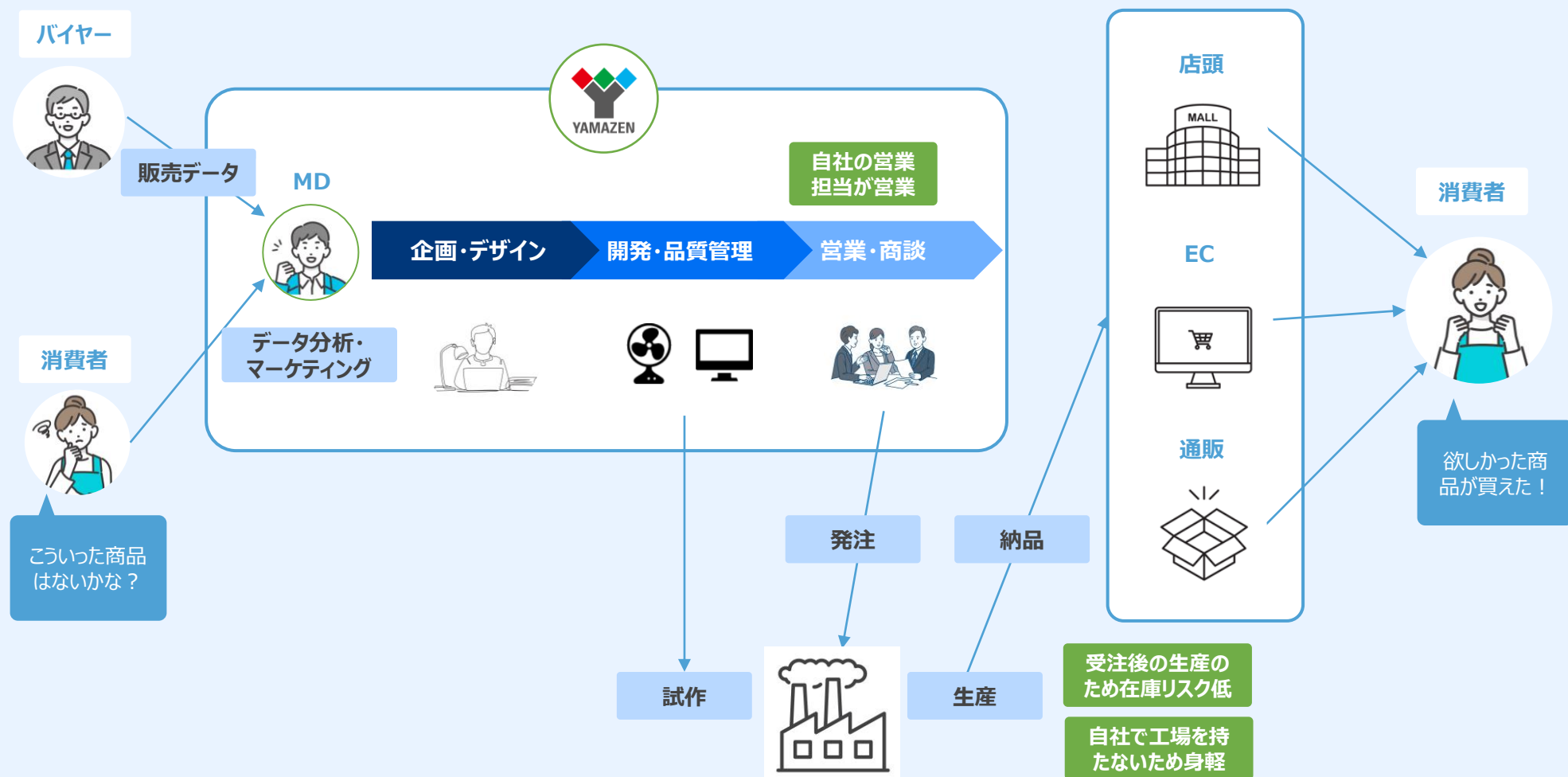
海外スタッフ
約1200人

うちエンジニア
約330人

※2023年10月末時点

山善の強み③ 低リスクなファブレスメーカービジネス

家庭機器事業の売上高の約6割がプライベートブランド商品。そのプライベートブランド商品は、ニーズを知り尽くした、営業経験のある当社マーチャンダイザー(MD)が、裁量を持ってスピーディーに企画開発を行うことで、短い期間で商品化が可能。生産設備も自社で持たないので低リスク。



創業者の企業哲学「切拓く」を体現する豊富な人財



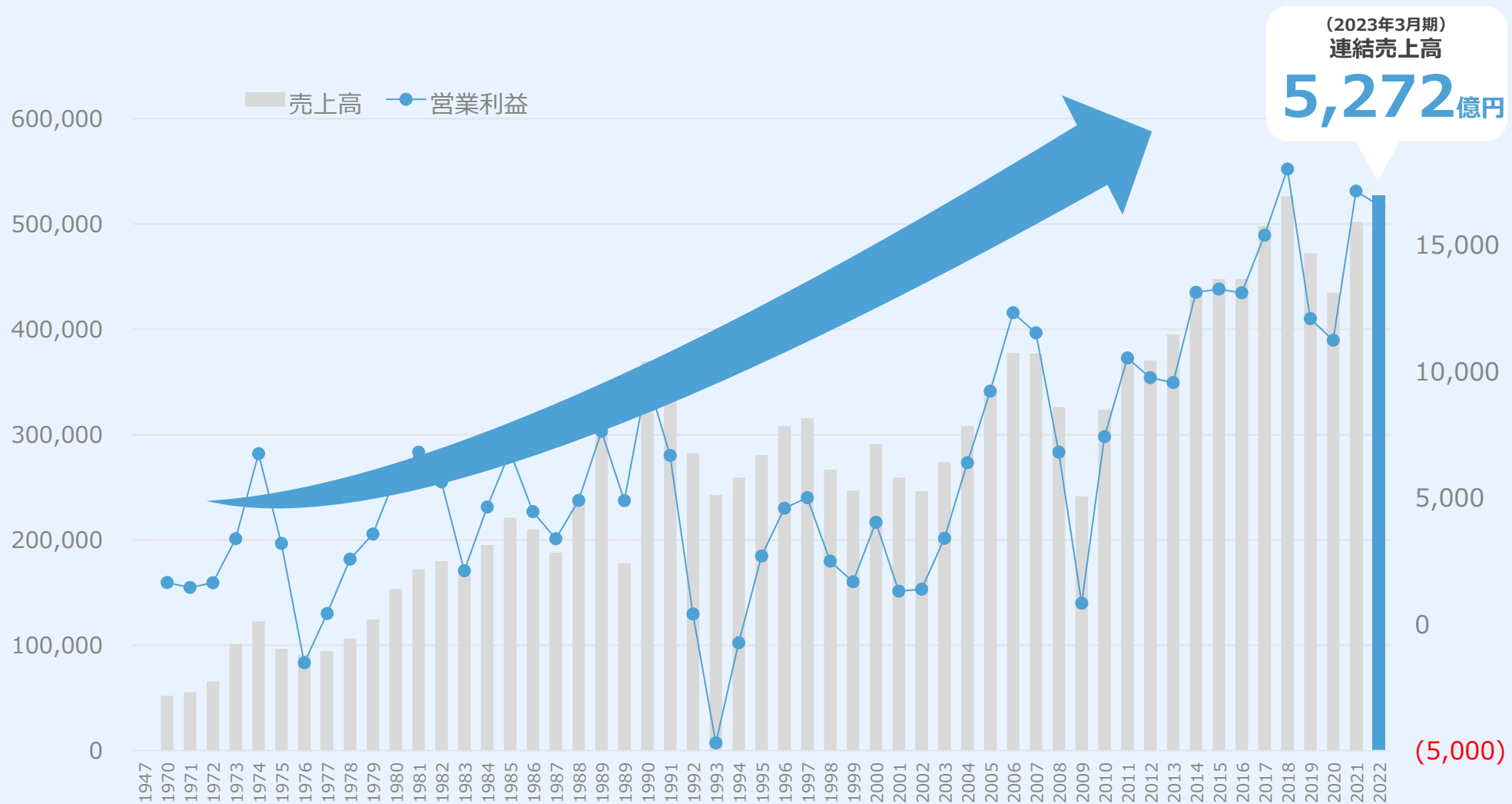
切拓く

切拓く精神と考動力で、
山善の成長を支える自業員

※ 当社で働く人財をもっと知るには「[山善 BASE CAMP](#)」をご覧ください。

業績推移

お客様ニーズに応えるために事業を広げ、売上を拡大！



※1978年度より連結決算を適用しています

※1989年度より決算日を9月20日から3月31日に変更しており、当該年度におきましては2つの決算数字があります。

重点施策

—さらなるお困りごとへの対応—

①自動化・省人化提案の強化と販路拡大



労働人口減少による生産現場の働き手不足で
日本のものづくり力が低下



自動化・省人化ロボットの提案

②製造業向けデジタルサービス「ゲンバト」 始動

各メニュー月額1~2万円から始められる
サブスクリプション型サービス※



図面管理



不良記録



設備管理



エンムスビ

※ オリジナルサービスのみ

労働人口の減少や後継者不足、マーケットの
縮小、IT活用の遅れなどにより、中小製造業
のものづくり力が低下



デジタル化による生産性向上・取引先との新たな
出会いの場を提供する「ゲンバト」を通じて、
中小製造業が抱える課題の解決を図り、
日本のものづくりを活性化

2024年2月21日サービス開始

目標

2028年度 契約数 **7,000**件 サービス利用額 **10**億円

詳しくは[「ゲンバト」公式サイト](#)をご覧ください。

③2024年問題への対応



ドライバーの労働時間制限に伴う
物流・運送業界の「2024年問題」



自動化・機械化の推進で
ドライバーの待機時間を短縮
さらに新しい管理システムの導入で
物流業務を効率化

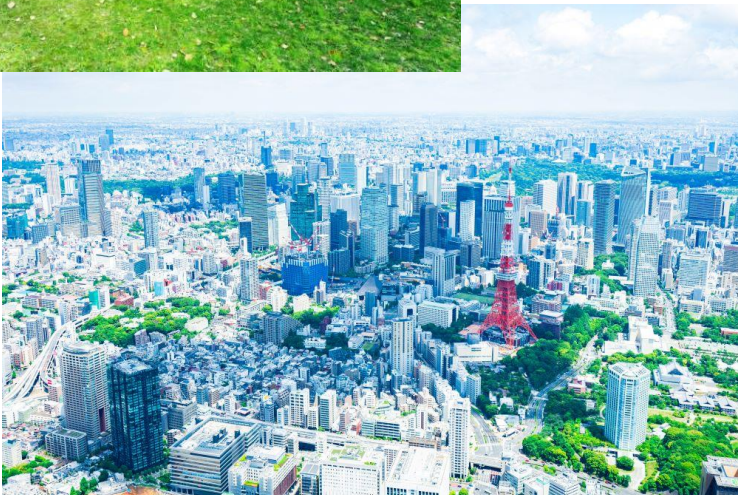
④脱炭素に向けた取り組み



温室効果ガスの排出による気候変動



環境にやさしい商品の販売促進と
太陽光発電設備の導入ビジネスで、
お取引先様とともに脱炭素に取り組む



成長戦略事例①グローバル拠点のさらなる拡大



海外市場の発展



さらなるグローバル化を全世界で進め、

特に**インド**を中心とした

グローバルサウスへ積極展開



海外

14カ国・地域

64事業所

※2023年10月末時点

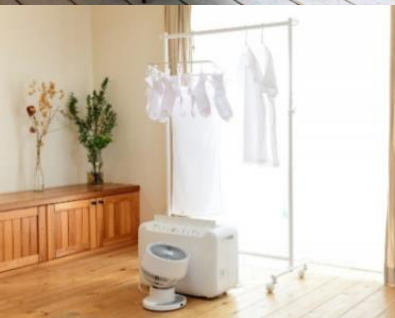
成長戦略事例②プライベートブランド商品のさらなる強化



消費者が求める商品・機能の多様化、
人口減少によるマーケットの縮小。



消費者ニーズを的確に把握するための**マーケティング力強化**とPB商品の**ラインアップ**
拡充。さらに**新たなBtoB販路**の開拓。



山善ビズコム

個人事業主や地方自治体等、今までになかった販路で
法人の新規顧客を開拓し、売上UPに繋げる。

2024年3月期業績見通しと株主還元

2024年3月期の業績見通し

単位（百万円）		2023年3月期 実績	2024年3月期 計画	対前期 増減率
売上高		527,263	500,000	△5.2%
	機械事業部	151,214	132,000	△12.7%
	産業ソリューション事業部	96,315	93,000	△3.4%
	ツール&エンジニアリング事業部	105,673	103,000	△2.5%
	住建事業部	68,031	69,000	1.4%
	家庭機器事業部	100,711	101,000	0.3%
	その他	5,317	2,000	△62.4%
営業利益		16,563	10,000	△39.6%
営業利益率		3.1%	2.0%	(△1.1pt)
経常利益		17,280	10,000	△42.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益		12,527	6,700	△46.5%

2023年5月時点で成長投資の加速による減価償却を見込み、増収減益計画であったが、日本国内市場における設備投資の回復が遅れ、海外市場でも特に中国の景気の浮揚力が弱く、設備投資に対する慎重姿勢が継続する見込みであるため、2023年9月に上記に修正。

資本政策に関する各種取組み



配当方針の変更や政策保有株の売り出し等、各種施策を積極的に実施。

株主還元方針について

2023年8月10日開示

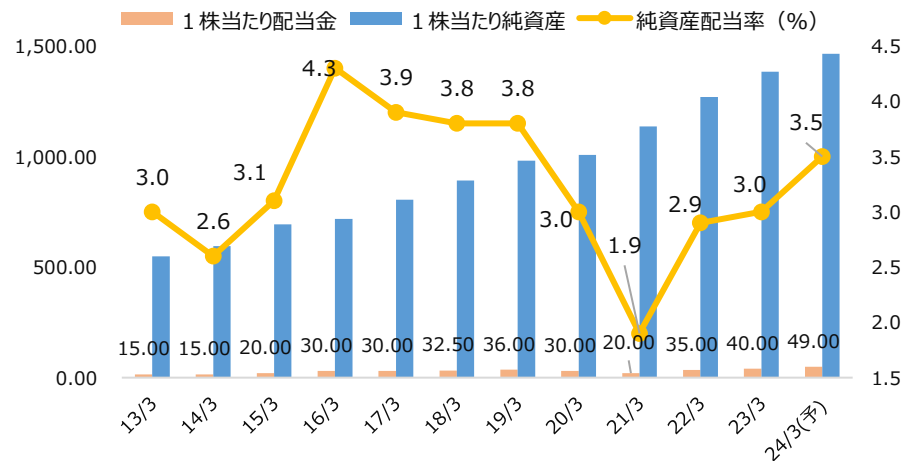
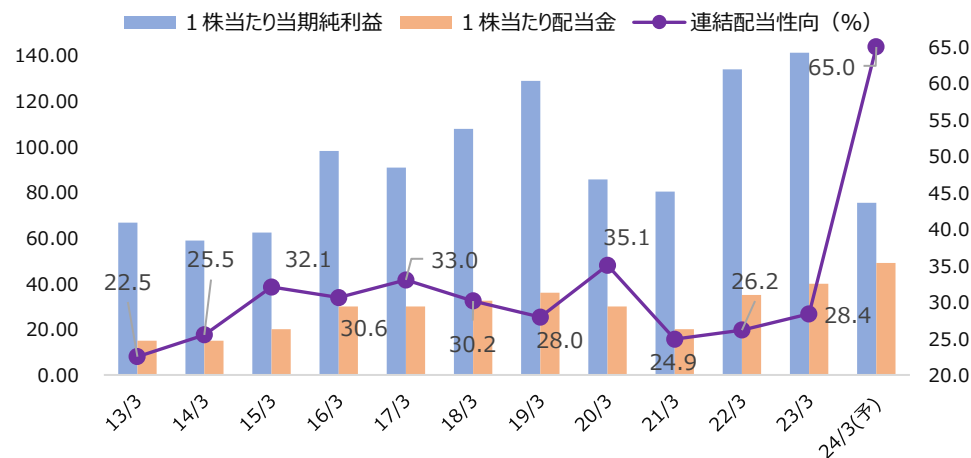
適用期間：2024年3月期及び2025年3月期（中期経営計画「CROSSING YAMAZEN 2024」期間中）

変更前

配当性向30%を目途

変更後

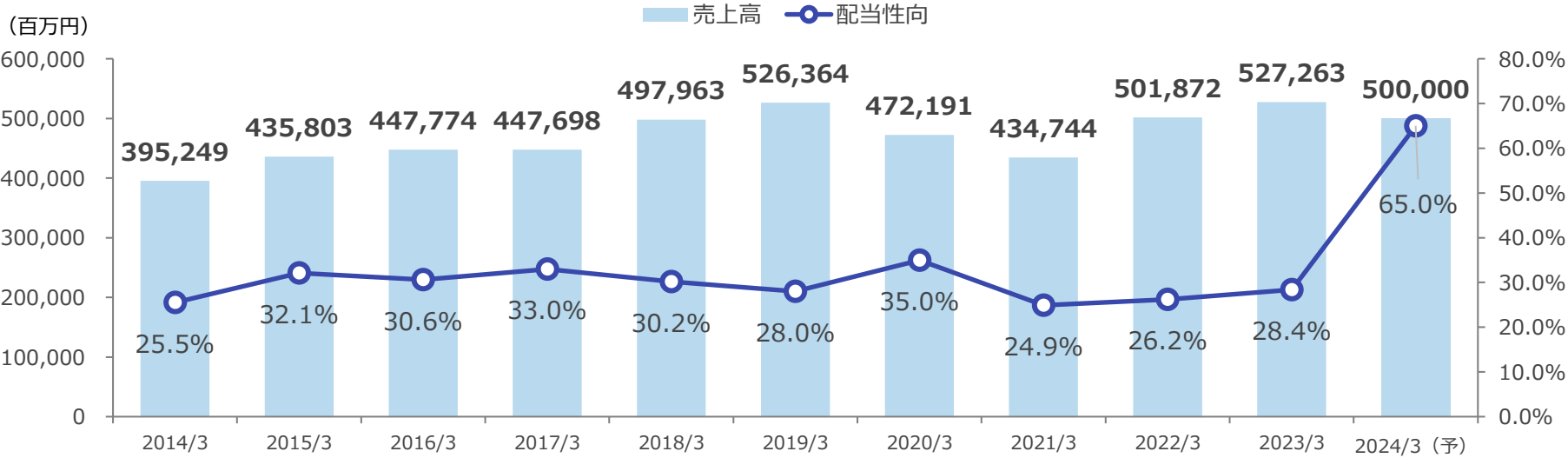
連結配当性向40%、または
自己資本配当率（DOE）
3.5%のいずれか高い金額



株主還元について

安定した業績および配当性向を実現

2023年3月期：中間・期末配当をそれぞれ20円とし、年間配当40円/株
2024年3月期：中間20円/株、期末配当29円/株とし、年間配当49円/株を予定



		2018/3期	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期 予定	直近3カ年合計 '22/3~'24/3 計画
配当金額 (円)	中 間	13.0	15.0	16.0	10.0	10.0	20.0	20.0	50.0
	期 末	*19.5	*21.0	14.0	10.0	*25.0	20.0	29.0	74.0
	年 間	*32.5	*36.0	30.0	20.0	35.0	40.0	49.0	124.0
配当性向 (%)		30.2	28.0	35.0	24.9	26.2	28.4	65.0	35.4
年間配当金 (百万円)		3,074	3,405	2,837	1,891	3,115	3,560	4,362	11,038
自己株式取得金額 (百万円)	-	733	-	-	-	5,999	-	-	5,999

*は特別配当、記念配当を含む

ともに、未来を切拓く

100年先の世界は誰にもわからない。

だからこそ山善は最適解を見つけ出す。

ビジネスの「現場」にある活きた情報を掴み、

「課題解決力」と「人間力」を一段と磨き、

あらゆる垣根を超えて挑戦を続けます。

山善に関わる人たちはもちろん、その先でくらす全ての方々と。

今までも、そしてこれからも。

ともに、未来を切拓く。



ともに、未来を切拓く



- 【将来情報に関するご注意】
- 「本資料に記載されている中期経営計画、見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。将来の見通しに影響を与え得る要素には、当社の事業領域を取り巻く経済環境・競争圧力・関連する法規・商品の開発状況の変化・為替レートの変動などがあります。ただし、見通しに影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではありません。」